

優秀賞

失敗したっていいじゃん

学校法人才教学園 才教学園小学校 6年 谷 つぐみ

私にとって失敗は二種類あります。

一つ目は学校での失敗です。例えば、宿題を忘れることや授業中の発言で答えをまちがえることなどです。学校では失敗すると、だいたいおこられるか注意されるので、私は失敗しないように常にがんばらないといけないと思っています。だから、学校で失敗することは怖いこと、よくないことだと思っています。また、友達の視線も気になります。

二つ目は、習い事の乗馬での失敗です。例えば、馬を上手にリードできず、障害を飛ばなかったり、時には馬から落ちたりすることもあります。乗馬では失敗すると、どうしてそうなったのか原因を考えるように言われます。そうすると私は、次にこうしようなど考え方を变えて、もう一度馬と一緒に障害に向かうことができます。だから、乗馬での失敗は私にとっては失敗ではなく、上達する近道だと思っています。

私は、二つの失敗は何がちがうのか考えてみました。学校での失敗は「怖い。」や「友達に何か言われるかな。」など自分の気持ちが悪くなるようになっていきます。一方、乗馬での失敗は「やってやる。」や「次こそ飛べるようにしよう。」など失敗だと思わないくらい前向きな気持ちになっていきます。同じ失敗でも私の気持ちは正反対の感じ方をしています。

学校でも乗馬でも何かができるようになったり、上手になるためには、失敗をさけて通ることはできません。同じ失敗でも、失敗するのなら、私は乗馬をしている時の気持ちのように「失敗してもいいじゃん。」、「次はうまくなってやる。」というような、前向きな気持ちの自分でいいです。そして、失敗しても大丈夫と思えるような場所が増えると思います。